

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年6月11日(2015.6.11)

【公表番号】特表2013-544876(P2013-544876A)

【公表日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2013-542619(P2013-542619)

【国際特許分類】

C 07 H 15/26 (2006.01)

A 61 K 31/7056 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

A 61 K 45/00 (2006.01)

【F I】

C 07 H 15/26 C S P

A 61 K 31/7056

A 61 P 31/04

A 61 K 45/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年3月13日(2015.3.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

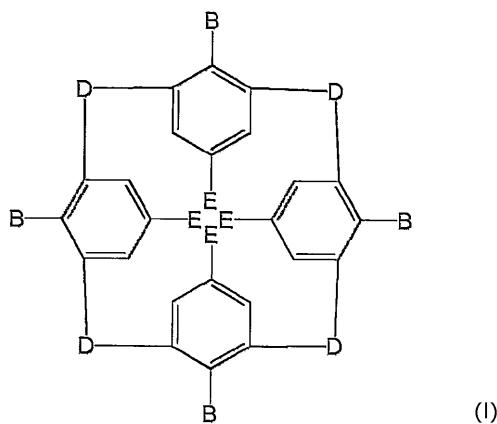
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

次に示す式を有するカリキサレン系グリコシル化化合物(I)であって、

【化1】



式中、

Dは、独立して、-CH₂-基、酸素原子、硫黄原子、スルフィニル基、もしくはスルホニル基から選択され、

Eは、独立して、水素、1~10個の炭素原子を有するアルキル、6~20個の炭素原子を有するアリール、二酸化窒素基、アジド基、アミノ基、グアニジニウム基、ハロゲン原子、-CH₂R基(式中、Rはヒドロキシル、ハロゲン、アミノ基、N(アルキル)₂基、NH(アルキル)基である)から選択されるか、又は、Eは、-CO-R' (式中、R'は水素原子、ヒドロキシル基、もしくはアミノである)を表し、

B は、 A - C 基

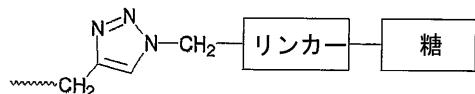
{ 式中、

A は、独立して、酸素原子、硫黄原子、NH 基、もしくは (CH₂)_i 基 (式中、i は 1 から 10 の整数である) から選択され、

C は、独立して、水素、アルキル、アルケニル、アルキニルから選択されるか、又は

、
C は、次に示す式の基

【化 2】



【式中、リンカー】は、次に示す式の基

(CO - NH)_n - (V)_m - U

(式中、

n は 1 ~ 3 の整数であり、

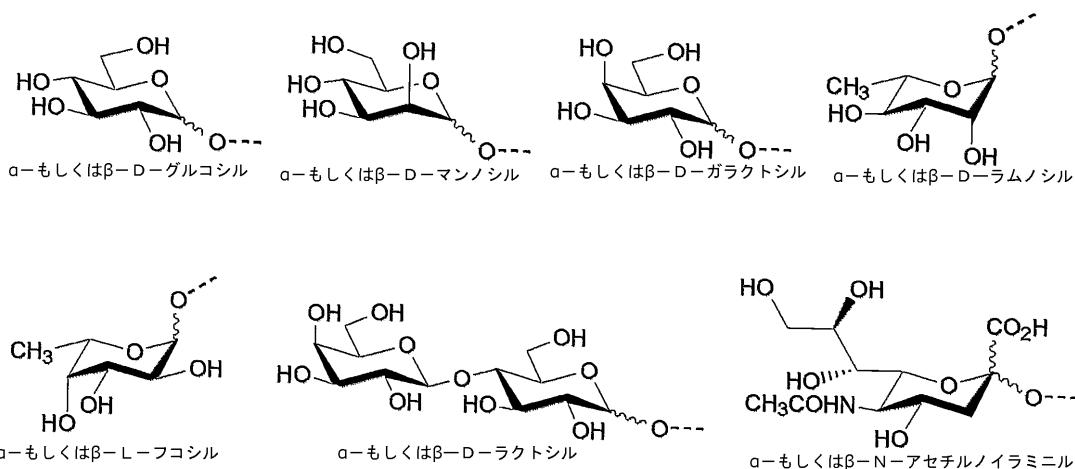
V は、CH₂、C₆H₄ (フェニル "Ph")、CH₂ - CH₂ - O - CH₂、CH₂ - C - O - NH - CH₂ であり、

m は 1 ~ 15 の整数であり、

U は、存在しないか、もしくは CH₂ である) であり、

糖は、少なくとも 1 つの炭水化物部分を有する基であって、次に示す基から選択される基

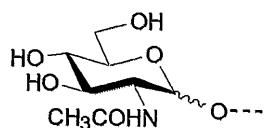
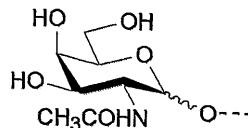
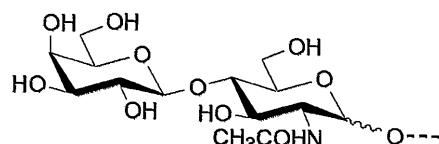
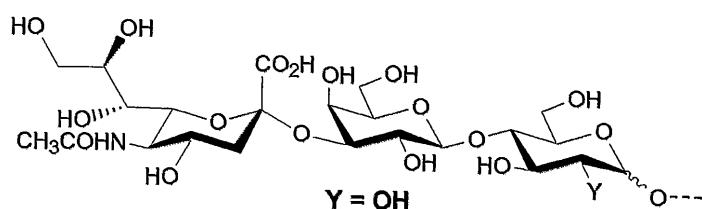
【化 3】



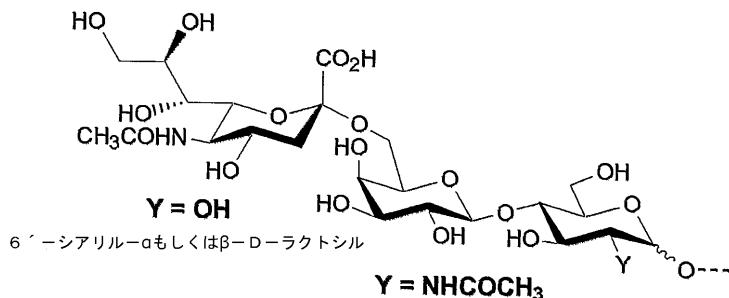
もしくはこれらの誘導体である] であり、

前記 C 基の糖誘導体が、次に示す

【化4】

a-もしくは β -D-N-アセチルグルコサミニルa-もしくは β -D-N-アセチルガラクトサミニルa-もしくは β -D-N-アセチルラクトサミニル3'-シアリル-a-もしくは β -D-ラクトシル3'-シアリル-a-もしくは β -D-N-アセチルラクトサミニル

及び

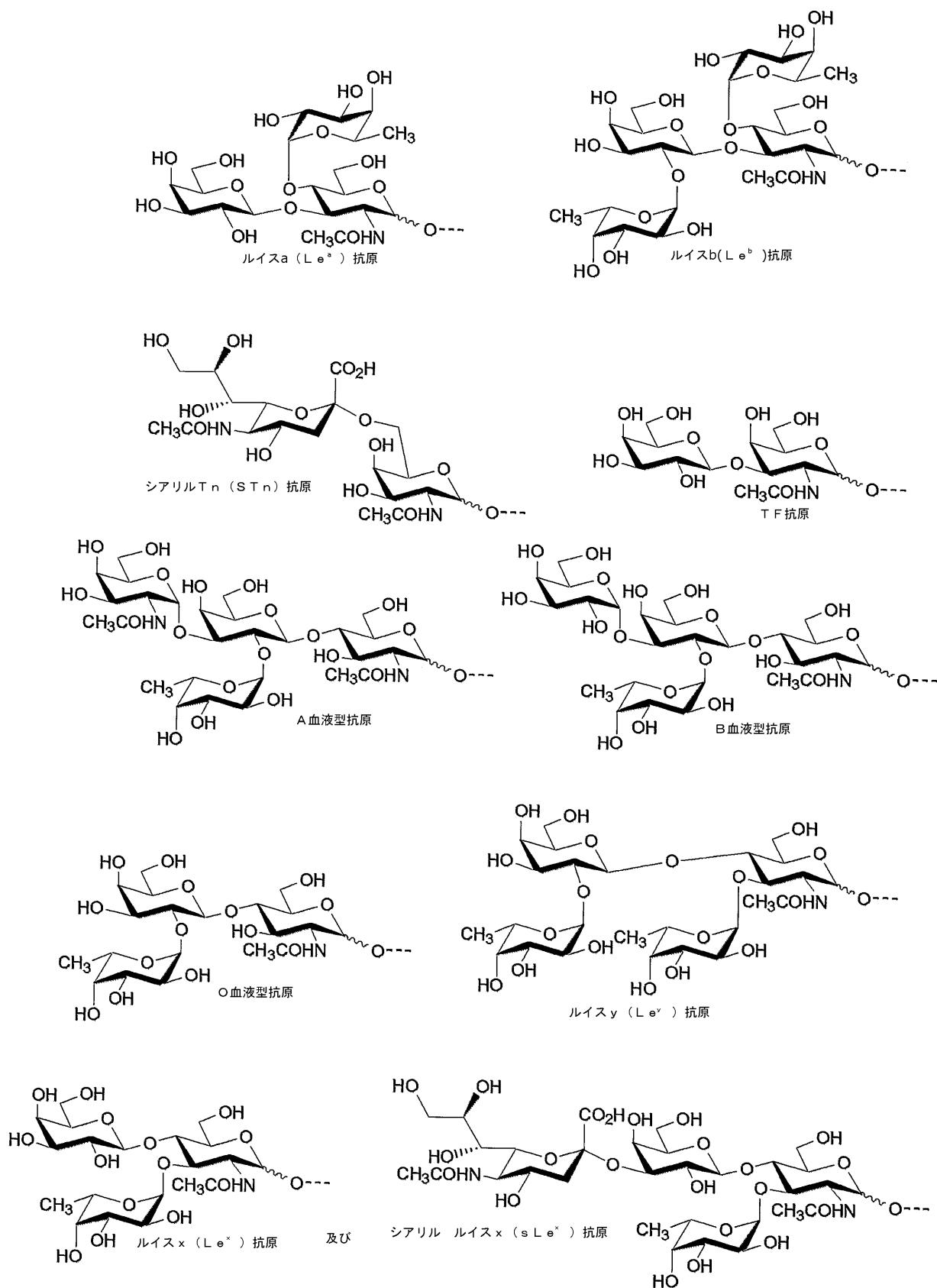
6'-シアリル-a-もしくは β -D-ラクトシル

から選択され、

あるいは、

前記C基の糖誘導体が、次に示す

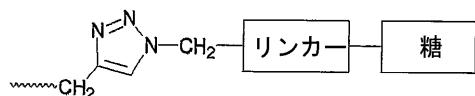
【化5】



から選択され、

かつ、該カリキサレン系グリコシリ化化合物(I)の4つのC基のうちの少なくとも1つは、次に示す前記式の基

【化2】



を表す}、

カリキサレン系グリコシリ化化合物(I)。

【誤訛訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

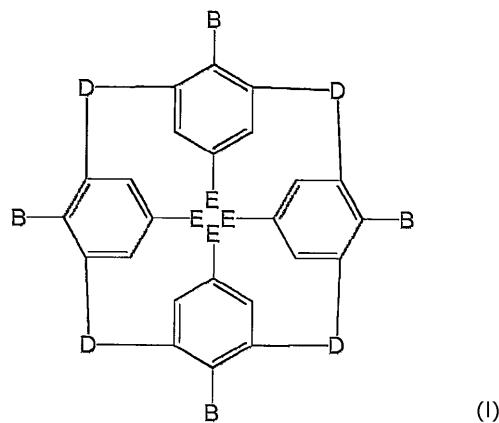
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

本発明の1つの態様においては、本発明は以下の式で表されるカリキサレン系グリコシリ化化合物(I)を提供する。

【化1】



(I)

式中、

Dは、独立して、 $-\text{CH}_2-$ 基、酸素原子(=O=)、硫黄原子(=S=)、スルフィニル基($\text{S}=\text{O}$)、もしくはスルホニル基から選択され、

Eは、独立して、水素、1~10個の炭素原子を有するアルキル、6~20個の炭素原子を有するアリール、二酸化窒素基($\text{N}=\text{O}_2$)、アジド基($-\text{N}=\text{N}^+=\text{N}^-$)、アミノ基($-\text{NH}_2$)、

H_3N^+)、グアニジニウム基($\text{N}^+(\text{NH}_2)_2$)、ハロゲン原子、 $-\text{CH}_2\text{R}$ 基(式中、Rはヒドロキシル(OH)、ハロゲン、アミノ基、N(アルキル)₂基、NH(アルキル)基である)か

ら選択されるか、又は、Eは、 $-\text{CO}-\text{R}'$ ($\text{C}(\text{O})\text{R}'$)
(式中、R'は水素原子、ヒドロキシル基、もしくはアミノである)を表し、

Bは、A-C基

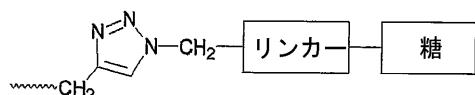
{式中、

A は、独立して、酸素原子、硫黄原子、NH 基、もしくは $(CH_2)_i$ 基（式中、i は 1 から 10 の整数である）から選択され、

C は、独立して、水素、アルキル、アルケニル、アルキニルから選択されるか、又は

C は、次に示す式の基

【化 2】



【式中、リンカ】は、次に示す式の基

$(CO - NH)_n - (V)_m - U$

（式中、

n は 1 ~ 3 の整数であり、

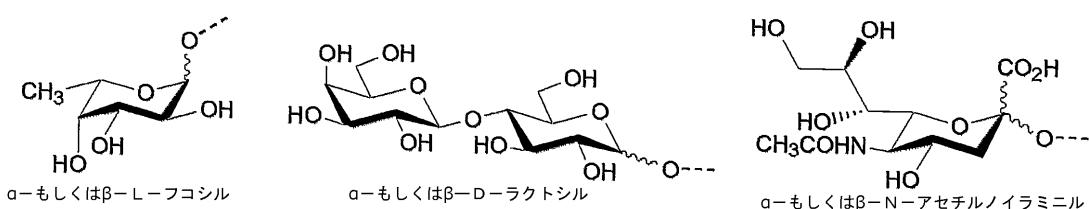
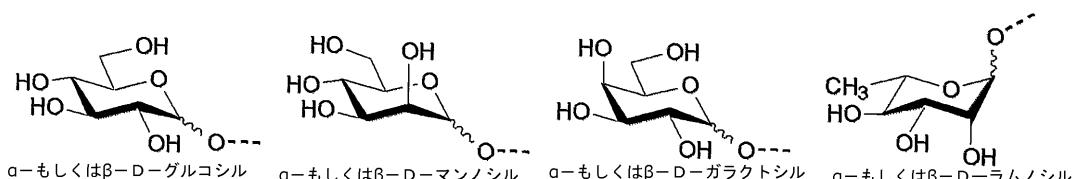
V は、 CH_2 、 C_6H_4 （フェニル“Ph”）、 $CH_2 - CH_2 - O - CH_2$ 、 $CH_2 - CO - NH - CH_2$ であり、

m は 1 ~ 15 の整数であり、

U は、存在しないか、もしくは CH_2 である）であり、

糖は、少なくとも 1 つの炭水化物部分を有する基であって、次に示す基から選択される基

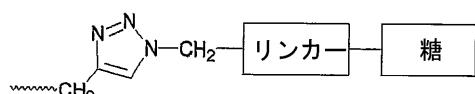
【化 3】



もしくはこれらの誘導体である]であり、

かつ、該カリキサレン系グリコシル化化合物（I）の 4 つの C 基のうちの少なくとも 1 つは、次に示す前記式の基

【化 2】



を表す}。